

# 石川の保護犬・保護猫



## 犬と飼い主をつなぐ

ピースリーや松田庵主が愛犬と出会うきっかけを作った団体「石川ドッグレスキュー」(事務局長沢市)は正会員12人と手伝いのスタッフによる主催中心のボランティアグループです。

小松市の石川県南部小動物管理指導センターから、人なれしていない元野犬や乳飲み子、体が不自由な犬など、譲渡先が

## 石川ドッグレスキュー

見つかりにくく、本来なら殺処分されるような状態の保護犬を引き取っています。最初はスタッフ宅で預かって、人にもまれても大丈夫になるまで世話をし、里親を探します。

譲渡にはペット居住が可能な環境であること、最後まで責任を持って面倒を見ること、避妊去勢手術を行うことなど、い

ペットを飼うとき、まずは保護犬、保護猫の情報を探すという人がじわじわと増えています。保護犬、保護猫とは、逃げ出したり捨てられたりして飼い主がいなくなり、動物愛護センターなどに保護された犬や猫。一緒に暮らせば大切な人生のパートナーになりますが、誰とも縁がなければ殺処分。縁があって石川県で保護犬と幸せに暮らす人や、保護猫と上手に付き合う方法などを紹介します。



松田庵主と暮らす保護犬

長寿寺住僧 松田清幸庵主(野々市市)

「そら」が我が家に来たのは、今から4年前。動物保護団体から知り合っている人に、「一目が臭えないかわいそな犬がいるからもつてくれないか」と連絡があったのです。聞くと「そら」は小松の工場跡で助産師前のごとを扱われていたそうです。見つけた時は夜死状態で、ぼろぼろと震えていたけれど、目が見えない犬と、70

歳から、目が見えない保護犬「そら」が我が家に来たのは、今から4年前。動物保護団体から知り合っている人に、「一目が臭えないかわいそな犬がいるからもつてくれないか」と連絡があったのです。聞くと「そら」は小松の工場跡で助産師前のごとを扱われていたそうです。見つけた時は夜死状態で、ぼろぼろと震えていたけれど、目が見えない犬と、70

歳から目が見えない保護犬「そら」が我が家に来たのは、今から4年前。動物保護団体から知り合っている人に、「一目が臭えないかわいそな犬がいるからもつてくれないか」と連絡があったのです。聞くと「そら」は小松の工場跡で助産師前のごとを扱われていたそうです。見つけた時は夜死状態で、ぼろぼろと震えていたけれど、目が見えない犬と、70



## 「ペットのおくりびと」と働く保護犬

ペットの葬儀社ピースリー 石小喜美江さん(能美市)

「ペットのおくりびと」とは、ペットの飼い主が亡くなったときに、ペットの遺体を回収し、埋葬や火葬の手配をする仕事です。石小喜美江さんは、能美市にある「ペットのおくりびと」の代表者として、保護犬と協力して働いています。

保護犬は、ペットのおくりびととして活躍しています。保護犬は、ペットのおくりびととして活躍しています。



石小喜美江さん  
「ペットのおくりびと」  
の代表者として活躍中

「ペットのおくりびと」として活躍!!

その後のナツちゃん「営業部長」として大活躍!!

ナツちゃんは、現在は週5日出勤。月に2、3回営業される合同法費では、前足をそろえてお祈りをしながら、立派にピースリーの「営業部長」を務めています。

